

**東海地域中核産業支援投資事業有限責任組合による
みのまちや榊へのメザニンファイナンスを実施しました
—古民家再生事業への資金供給を通じた地方創生の取組み—**

当行、十六リース株式会社（社長：内田 篤）、および株式会社日本政策投資銀行（社長：渡辺 一、以下「DBJ」という。）が共同出資する東海地域中核産業支援投資事業有限責任組合（注 1）は、みのまちや株式会社（本社：岐阜県美濃市、社長：辻 晃一、以下「当社」という。）に対し、メザニンファイナンス（注 2）を実施しました。

当社は、平成 30 年 4 月に機械抄き美濃和紙メーカーである丸重製紙企業組合と、兵庫県篠山市を拠点に古民家リノベーションを手掛ける株式会社 NOTE が共同で設立した会社です。当社は、美濃和紙等の観光資源を活用し、美濃市が保有する築約 100 年の紙商の旧邸宅を和紙のショールームおよび宿泊施設としてリノベーションすることで、美濃市における新たな滞在型、体験型観光の需要創出を目的としております。

本件は、「和紙とうだつのまち」である美濃市における歴史的資源の利活用を通じた観光振興に資する取組みを、当行および ALL-JAPAN 観光立国ファンド（注 3）と協調して資金面からサポートするものです。

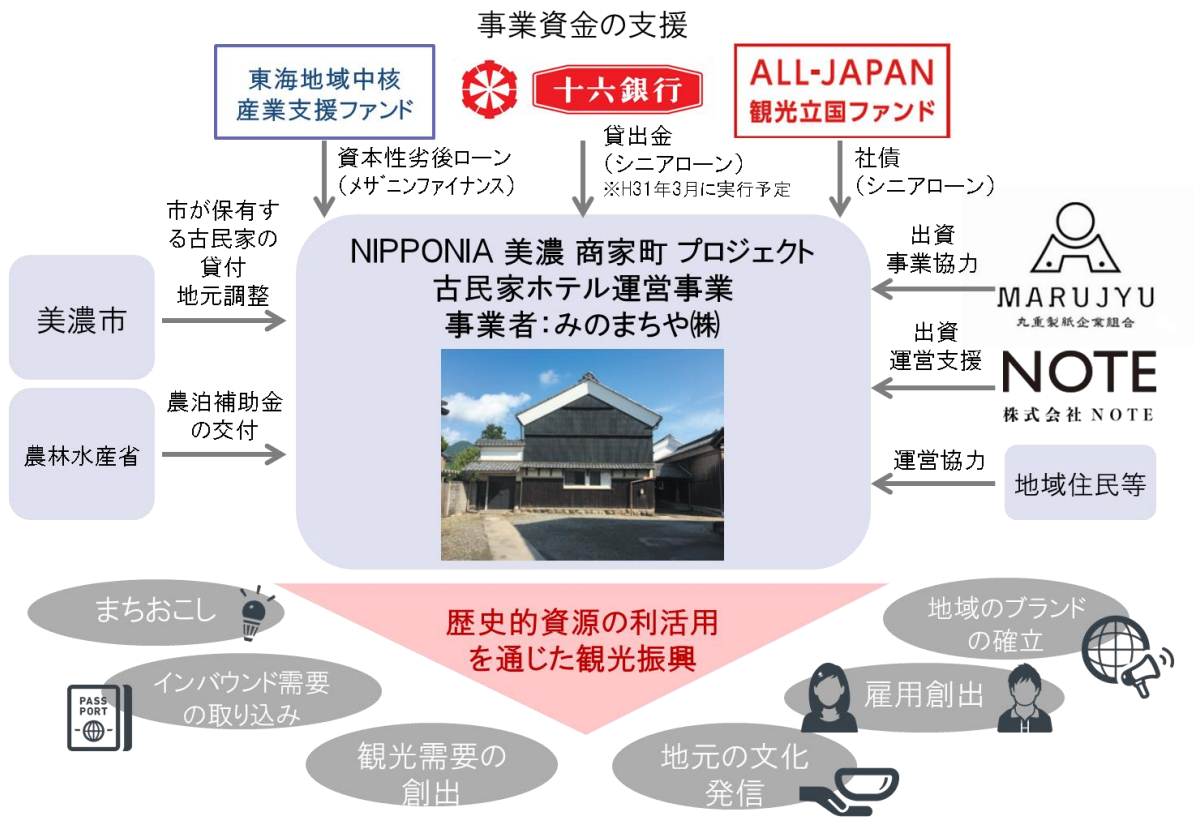
当行では、通常の融資はもちろんのこと、メザニンファイナンスによる資本性資金の提供等、多様な資金供給手段を用いて、地域経済の活性化に向けた取り組みを積極的に支援してまいります。

（注 1）岐阜県・愛知県に顧客基盤を有する当行と DBJ が連携し、優先株式や劣後ローン等の金融サービスを組み合わせながら、地域の事業者さまへのサポート体制を強化することを目的に、平成 28 年 1 月に設立されました。

（注 2）メザニンとは「中二階」を意味しており、資本と負債の中間的性質を有するファイナンスを指します。

（注 3）株式会社三菱 UFJ 銀行や、当行を含む地方銀行 31 行が共同出資し、日本全国の観光活性化を通じて地域創生を目指すことを目的に本年 4 月に設立されました。様々な業界のリーディングカンパニーと地域金融機関が連携して投資先の事業サポートを行うことを特徴としており、地域の枠を超えて 47 都道府県全てを投資対象とした、民間ではわが国初かつ最大規模の観光立国ファンドです。

本件スキーム図



以上